

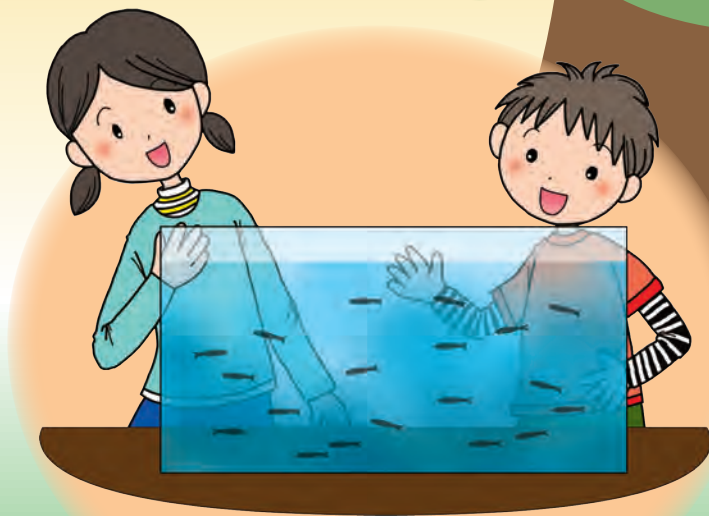
せせら通信つうしん

だい
第14号
ごう

そだ
サケの赤ちゃんを育ててみませんか？

じゅせいらん はいふ おこな
12月4日（日）に受精卵の配布を行います。
かず かぎ
数に限りがあるので、事前の申し込みが必要です。

と あ
お問い合わせはせせらまで！



たまご そだ
せせらでもサケの赤ちゃんを卵から育てるよ！
ねえ こえ
見たい人は、せせらのお姉さんに声をかけてね！



渡良瀬グリーンプラザ

わたらせ ちすい さほう れきし しぜん
「せせら」は、渡良瀬川の治水や砂防、川にまつわる歴史や自然、
まわ しぶつ
渡良瀬川の周りにすむいろいろな生きものや、植物などについて、
たの しら しせつ
楽しく調べたり、学んだりするための施設です。



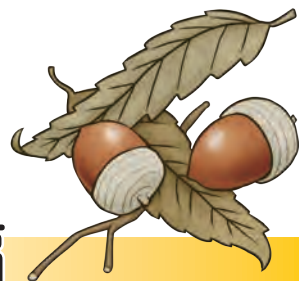


き
聞いて!

ぼくたち、わたしたちの

学校じまん

きり ゆう し りつ ひろ さわ へん
桐生市立広沢小学校 編



◆ 広沢小学校は、渡良瀬川と茶臼山のそばにあります。学校ができて今年で 143 年目、桐生市でも古い小学校のひとつです。校庭には、マツやサクラ、カエデが茂る築山と茶臼山からのわき水がたまるひょうたん池があります。2年生は、授業で、この池のザリガニを釣ります。桐生市は、古くから織物産業で有名ですが、ここ広沢町にも織物工場があり、渡良瀬川の水が使われてきました。そうした豊かな自然環境の中で、全校 562 名の子どもたちは、毎日熱心に勉強し、元気になかよく遊びます。女優の篠原涼子さん（桐生市観光大使）は、広沢小の卒業生です。



校庭の築山とひょうたん池



ピロティは多目的に使えるスペース

◆ 広沢小の今の校舎は、昭和 48 年に完成しました。児童玄関の隣には、世界遺産に登録された国立西洋美術館と同じピロティがあります。ピロティとは 1 階部分が柱だけの建物のことで、雨や直射日光をさけられるので簡単な集会などに利用しています。

◆ 5月の遠足では、2年生は境野水処理センター屋上公園、3年生は松原橋公園、4年生は水質浄化センターへ歩いて行き、水や川をテーマにした体験学習をしています。水質浄化センターの壁画は、昭和 61、62 年度に広沢小の児童が描いた自慢の作品です。



水質浄化センターの壁画

◆ 5年生は6月に桐生市立青少年野外活動センターで宿泊学習をしています。梅田湖でのカヌー体験は、五感で水とふれあう人気のプログラムです。



梅田湖でのカヌー体験

◆ 学区内には、交通量の多い国道 50 号が通っているので、保護者や地域の人々は、子どもたちを交通事故や災害から守るために、安全や防災に熱心に取り組んでいます。6月の避難訓練では、強い地震を想定して、おうちの人たちが学校まで迎えに来る訓練もしました。7月には、JRC委員会（※）が中心となって熊本地震の募金を集め、広沢小と同じ「広」の字がつく、益城町の広安小へ募金と千羽鶴を送りました。（※ JRC：青少年赤十字）



災害に備えての避難訓練

イノシシ見つけた!



あつ!
何か
いるよー!



あれは野生のイノシシだよ!
けっこおおきいね。
イノシシ!?!



このあたりの川の
近くには、イノシシの
他にも野生動物が
すんでいるのよー!
近くに
行って
みようよー!



コラコラーだめだよ! イノシシは人の
気配がしたら逃げる人が多いけど、
怒ったときは人をおそうこともあるんだ。
それに野生動物は病気を持っている
こともあるから
絶対に
近づいたりしちゃ
いけないよ。



どうして野生動物が
町の近くにいるの?
山の中で食料がたりないと
食べ物を探しに山から
下りてくるんだ。
林や草むらのある河原には
食料も水もあるから
すみついてしまっただね。
農作物やゴミをあたる動物もいるんだよ。



きょうのお弁当もちゃんと
持って帰らないとー!
エサをやるのも
ダメなんだね!
そのとおりー!

イノシシは、堤防に生えた
植物の根を食べるために、
穴を掘ってしまっただ。
そこから堤防が崩れることもあるから、
イノシシが荒らさないように
ネットやマットを貼って保護するとか、
いろんな
取り組みが
されて
いるんだよ。



ブロックマットを設置しているようす



イノシシに荒らされた堤防



野生動物と人が
じょうずにすみ分け
できたらしいわね。

わたらせがわ 渡良瀬川の近くで見られる野生動物たち



イノシシ (ニホンイノシシ)
植物の根やイモ、ミズなども
土を掘って食べる。



渡良瀬川をわたるイノシシ



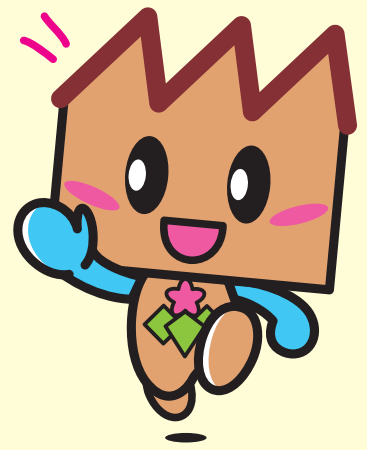
アライグマ
ペットとして飼われていたものが野生化
して増えた。かわいい見た目とちがって
凶暴といわれる。



キツネ (ホンドキツネ)
渡良瀬川の上流、松木沢で見つかった。

桐

桐生市は、足利市とともに古くから織物の町として栄えてきました。その起源は約1300年前とも言われています。渡良瀬川や桐生川から引いた水路に水車を作って機械を動かしていた時代もありました。昭和時代になって、一度にたくさんの織物を機械でつくるようになると、のこぎり屋根の工場がたくさん建てられました。屋根の北側にならぶ斜めのガラス窓からは1日中同じ明るさの光が入り、織物の色合いを確認するのに適していました。桐生市には今も200棟ほどののこぎり屋根がありますが、工場だけでなく、お店やレストランなどとしても使われています。桐生市のマスコット「キノピー」はのこぎり屋根がモチーフです。



桐生市マスコットキャラクター「キノピー」

「せせら」って どんなところ？

わたらせなんでもボード
渡良瀬川を中心とした歴史を、年表と写真でわかりやすく説明しています。

わたらせ生物観察ファイル
渡良瀬川とそのまわりにくらす、さまざまな生きものを紹介しています。

水とくらしのギャラリー
「堤防」や「砂防ダム」が、どのように役立っているのかを紹介しています。

わたらせピンナップシアター
渡良瀬川のことがよくわかる映画を、タッチパネルで自由に選んで見てみよう。

わたらせ淡水魚アルバム
渡良瀬川の代表的な魚が泳いでいる、ミニ水族館です。

わたらせ情報パレット
クイズに挑戦して、渡良瀬川のものしり博士になろう。

わたらせレポート
渡良瀬川に関する情報や周辺の地形図などを紹介しています。

その他：インフォメーション、大型スクリーン、生砂災害実験、展望通路、常設展示、エレベーター、空から見た足利のまち、特別展示室

せせらの地図



最寄り駅 JR両毛線 足利駅より徒歩 20分
東武伊勢崎線 足利市駅より徒歩 25分
自動車 東北自動車道 佐野藤岡ICより 35分
北関東自動車道 足利ICより 15分

わたらせ 川のふれあい館「せせら」
(渡良瀬グリーンプラザ3階)
〒326-0046 栃木県足利市岩井町 465-1
TEL&FAX 0284-44-3001

開館時間

4～6月及び9～3月 平日・休日ともに 10:30～16:00
7～8月 平日・休日ともに 9:30～16:45

休館日 毎週月・木曜日(祝日の場合はその翌日)

※7～8月の休館は木曜日のみ

年末年始(12/29～1/3)

入館料 無料 駐車場 あり

※館内は飲食禁止・禁煙です。食事と喫煙は所定の場所をお願いします。
※ペットを連れての入館はご遠慮ください。

「せせら」についての情報はホームページでもご覧いただけます。<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/index.htm>